



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 重清 安雄 (TEL) 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,620	6.3	792	19.7	787	16.8	502	3.5
29年3月期第3四半期	13,755	0.4	661	5.4	674	5.8	485	△3.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 497百万円(△4.4%) 29年3月期第3四半期 520百万円(2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	35.84	—
29年3月期第3四半期	34.63	—

(注) 平成29年10月1日付を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,615	4,966	63.6
29年3月期	6,638	4,609	67.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,841百万円 29年3月期 4,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金および年間配当金合計につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、年間配当金合計額につきましては、基準となる1株が異なるため「—」としております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,730	2.3	930	2.3	940	1.4	610	2.5	43.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期(通期)の1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」の(株式併合後の業績予想について)をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	15,145,175株	29年3月期	15,145,175株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,124,418株	29年3月期	1,124,404株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,020,769株	29年3月期3Q	14,020,770株

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第42回定時株主総会決議に基づく株式併合(当社普通株式10株を1株に併合)を実施し、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりです。

1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 1円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期4.35円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調であったものの、米国における政権運営の動向や不安定な北朝鮮情勢など懸念材料もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループでは、各事業のストロングポイントを的確に見極めた上でシナジー効果を最大限に発揮していくこと、また、国内だけにとどまらず積極的に海外にも進出し、人口減少時代を迎える日本において多角的な収益構造を構築して安定した成長を目指すことを目標としております。

今期においても、各事業の強みを確実に伸ばすことで売上・利益共に伸ばすことが出来ました。今後におきましてはグループの目標通り東南アジアを含む様々な国や地域に進出し、事業を成長させる事に邁進してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,620百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益792百万円（前年同四半期比19.7%増）、経常利益787百万円（前年同四半期比16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、502百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

主な事業別の状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営	
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
その他	(サーバントラスト信託株式会社)	管理型信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	少額短期保険商品の販売
	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、物流費の上昇や販売競争激化により、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況下、今期上期より引き続き、収益力の高いメキシコ産チルド牛肉の安定購買・安定販売を実現でき、より顧客の支持を得られるようになってきました。

また、12月の食肉消費最需要期において、適時、迅速に顧客ニーズに対応していった結果、計画通りの経営数値で推移しております。

通販事業におきましても、販売チャネルを増やし、最大の需要期を順調に乗り切ることが出来ました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,403百万円（前年同四半期比9.0%増）、セグメント利益（営業利益）は43百万円（前年同四半期比29.0%減）となりました。

今後におきましては、メキシコ産チルド牛肉の末端に直結し、安定的な販売ができる新規販売先開拓に全社を挙げて引き続き取り組んでいくことと、通販事業においてはマスメディア等、ギフト・景品への販売チャネルの開拓を推進してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、昨年秋以降の台風や日照不足の影響で生育不良となった事が原因での青果仕入価格の高騰、人件費の上昇を伴った人手不足など、非常に厳しい状況で推移致しました。

このような状況の中、適時・適切・適正価格での商材調達を行うため、仕入れ業者の選定を行ってまいります。

また、今後の取り組みと致しまして、売上拡大のための新規受託施設の獲得と収益向上のため、施設管理部門と営業担当を分け、新規に営業部門を開設する予定であります。

部門を分けることで、既存のお客様に対しましては、より良い食事・サービスが提供でき、様々な業態にも積極的に営業活動を行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,687百万円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は、324百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所及び有料老人ホーム運営事業を営んでおり、当第3四半期連結累計期間につきましては、2015年4月の介護保険法の改正による介護報酬大幅減、恒常的な人手不足に伴う人件費の上昇など、足元・先行きとも非常に厳しい状況で推移しております。

このため、介護サービスをご利用いただける機会を増やすことを目的に事業所の開設・見直しを推進しているなか、今年4月、6月に開設をした有料老人ホームのご入居者数が好調に推移している事に加え、既存の事業所でもご契約者数が順調に伸びております。また、平成29年度介護報酬改定に伴い、介護職員処遇改善加算Ⅰを新たに取得した事などから増収増益となりました。

これにより、当第3四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所37事業所（前年同四半期末は36事業所）、居宅支援事業所13事業所（前年同四半期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご契約者様は、1,938名（前年同四半期末は1,757名）。有料老人ホーム6施設（前年同四半期末は4施設）、ご入居者様数は256名（前年同四半期末は116名）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,288百万円（前年同四半期比17.3%増）、セグメント利益（営業利益）は530百万円（前年同四半期比39.6%増）となりました。

今後ともご利用者様の獲得に努めていくとともに、介護人材育成に注力していくことで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

ASMO CATERING (HK) 事業におきましては、引き続き当社の主な出店立地である百貨店・スーパーの集客力低下により既存店の売上が伸び悩んでおります。レストラン事業においては、和食のファミリーレストラン『今助』にて今期に導入した新メニューが好調に推移しております。

以前は『銀座 蔵人』という店名であった湾仔地区のホテル内にある店を『銀座 神楽屋』と店名変更し、以前からのスタイルでありますオーダービュッフェにしゃぶしゃぶ、すき焼きなどの鍋メニューをビュッフェメニューに追加し強化を図っております。ここ数年和食ビュッフェスタイルの店も増え競争が激化しておりますが、食べ放題にありがちな品質の劣化を決して発生させず、確実に固定客を増やしていけるように取り組んでまいります。

増え続ける日系スーパー内での新たなマーケットとして、これまで当社では無かった食品売り場内に位置する惣菜ショップを2018年1月、2月に各1店舗出店致します。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,713百万円(前年同四半期比5.1%増)、セグメント損失(営業損失)は、6百万円(前年同四半期は4百万円のセグメント利益)となりました。

⑤ その他の事業

a. サーバントラスト信託株式会社

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は、管理型信託事業を営んでおり、信託事業では「終活信託(高齢者向けの金銭管理信託、遺言代用信託を含む)」「不動産管理信託」「特定贈与信託」「ペット飼育費保全信託」などの個人向け信託商品のほか、葬儀社向けの「葬儀費用保全信託」、土業や高齢者支援団体等の終活事業を支援する「顧客分別金保全信託」、高齢者施設運営事業者向けの「入居一時金保全信託」、「不動産流動化信託」、商取引の金銭管理を行う「エスクロー信託」など法人向けの信託商品の販売に努めました。従前からの継続的な営業活動による成果が着実に積み上がり、信託契約件数も徐々に増えてまいりました。

営業面以外では、経費削減に努めた結果、前年同期比で増益を実現しております。

引き続き、積極的な営業活動を行っていくとともに、グループ主要事業である介護事業とのシナジーを図りながら、新規信託契約の獲得ならびに売上増加に努めてまいります。

b. アスモ少額短期保険株式会社

その他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を展開しており、生命保険商品3種類(生命定期保険、入院保障付生命定期保険、無選択型生命保険)と損害保険商品(高齢者施設入居者家財保険)を販売しています。

生命保険商品は従来のプロ代理店等による対面販売、インターネット・広告等による通信販売に加え、急増する外国人技能実習生向けプランを企画し、受入をしている協同組合への提案を開始致しました。

また、損害保険商品「転ばぬ先の杖」(高齢者施設入居者家財保険)は有料老人ホームを代理店化し、入居者にお勧めする販売方法および、老人ホーム紹介会社が他社との差別化を目的として1年間サービスとして付保するスキームにて展開しています。今後、多くの有料老人ホーム、老人ホーム紹介会社との提携を増やしていくことにより、販売を増やしてまいります。

c. ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED

その他セグメントに含めておりますASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITEDは、台北市郊外にある天母そごう店内の『日本料理 今助』と、台北市中心地にある復興そごう店内のフードコートショップ『彩井屋』の2店舗体制にて事業展開をしております。

『今助』におきましては、7月にグランドメニューの一新を行いました。今回の目玉商品として台湾では非常に人気のある天井を導入し、うどんとセットにしたメニューが売れ筋トップの商品となりました。

フードコートショップである『彩井屋』においても新たに鍋焼きうどんメニューを導入しております。間接費を抑えるよう、事務所などを縮小・移転して組織もスリム化されており、会社として再度黒字化に戻せるよう着々と取り組んでまいりました。

以上の結果、その他の事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は、523百万円(前年同四半期比3.2%

減)、セグメント利益(営業利益)は、21百万円(前年同四半期は0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ976百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が673百万円、受取手形及び売掛金が318百万円増加し、投資その他の資産「その他」に含まれている投資有価証券が27百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ619百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が265百万円、流動負債「その他」に含まれている未払金が161百万円、前受収益が116百万円、預り金が51百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,966百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が362百万円が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.6%(前連結会計年度末は67.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,666,659	3,339,710
受取手形及び売掛金	1,887,235	2,205,502
商品	260,375	325,714
貯蔵品	16,370	15,595
その他	515,160	494,907
貸倒引当金	△37,308	△96,968
流動資産合計	5,308,493	6,284,461
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	246,478	235,458
有形固定資産合計	246,478	235,458
無形固定資産		
のれん	34,760	19,863
その他	52,419	43,963
無形固定資産合計	87,179	63,826
投資その他の資産		
その他	1,311,123	1,353,027
貸倒引当金	△314,419	△321,451
投資その他の資産合計	996,704	1,031,576
固定資産合計	1,330,361	1,330,861
資産合計	6,638,855	7,615,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,053	728,822
短期借入金	—	25,000
未払法人税等	126,032	115,938
賞与引当金	185,566	170,087
その他	1,066,674	1,390,108
流動負債合計	1,841,327	2,429,956
固定負債		
退職給付に係る負債	144,457	165,266
その他	43,723	53,366
固定負債合計	188,180	218,632
負債合計	2,029,507	2,648,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	2,075,538	2,437,869
自己株式	△42,448	△42,457
株主資本合計	4,356,361	4,718,683
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△147	△154
為替換算調整勘定	121,071	121,677
退職給付に係る調整累計額	6,267	1,566
その他の包括利益累計額合計	127,191	123,089
非支配株主持分	125,794	124,959
純資産合計	4,609,347	4,966,732
負債純資産合計	6,638,855	7,615,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,755,218	14,620,490
売上原価	10,464,700	11,101,449
売上総利益	3,290,517	3,519,041
販売費及び一般管理費	2,628,561	2,726,898
営業利益	661,956	792,142
営業外収益		
受取利息	4,248	5,233
その他	9,109	10,303
営業外収益合計	13,357	15,536
営業外費用		
支払利息	621	940
貸倒引当金繰入額	△90	18,643
その他	487	438
営業外費用合計	1,019	20,022
経常利益	674,295	787,657
特別損失		
固定資産売却損	16	—
固定資産除却損	303	104
投資有価証券評価損	—	27,022
本社移転費用	1,866	—
その他	421	—
特別損失合計	2,608	27,127
税金等調整前四半期純利益	671,687	760,529
法人税、住民税及び事業税	124,210	162,565
法人税等調整額	61,208	96,418
法人税等合計	185,418	258,983
四半期純利益	486,268	501,545
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	755	△993
親会社株主に帰属する四半期純利益	485,513	502,539

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	486,268	501,545
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	19	△7
為替換算調整勘定	20,323	764
退職給付に係る調整額	13,749	△4,700
その他の包括利益合計	34,092	△3,943
四半期包括利益	520,361	497,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,236	498,437
非支配株主に係る四半期包括利益	5,125	△834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモレ ーディング 事業	アスモフ ードサー ビス事 業	アスモ介 護サー ビス事 業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	3,651	2,204,858	5,719,368	3,655,772	1,631,029	13,214,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	52,104	83,458	—	—	135,562
計	3,651	2,256,962	5,802,826	3,655,772	1,631,029	13,350,242
セグメント利益又は損失(△)	△125,564	61,899	340,499	379,832	4,783	661,451

(単位：千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	540,537	13,755,218	—	13,755,218
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	135,562	△135,562	—
計	540,537	13,890,780	△135,562	13,755,218
セグメント利益又は損失(△)	164	661,616	340	661,956

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	661,451
「その他」の区分の利益	164
セグメント間取引消去	340
四半期連結損益計算書の営業利益	661,956

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,564	2,403,480	5,687,740	4,288,594	1,713,621	14,097,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	44,574	141,155	—	—	185,729
計	3,564	2,448,054	5,828,895	4,288,594	1,713,621	14,282,731
セグメント利益又は損失(△)	△120,994	43,965	324,645	530,229	△6,712	771,133

(単位:千円)

	その他(注)	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高				
外部顧客への売上高	523,488	14,620,490	—	14,620,490
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	185,729	△185,729	—
計	523,488	14,806,219	△185,729	14,620,490
セグメント利益又は損失(△)	21,144	792,277	△134	792,142

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	771,133
「その他」の区分の利益	21,144
セグメント間取引消去	△134
四半期連結損益計算書の営業利益	792,142

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。